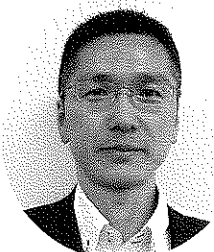


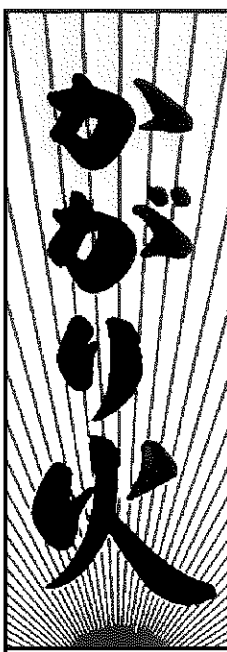
つながりを大切に ～目指せオール従事者～

日頃より従事者部会に對しまして、ご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。従事者部会では、年間を通じて様々なテーマの研修を企画しており、毎回沢山の従事者の皆様に参加いただいております。

こういった研修を企画・開催するにあたり、大阪民間社会福祉事業従事者共済会様、社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団様をはじめ、関係機関の皆様方から数多くのお力添えをいただいておりますこと、本当に心強く感じると同時にありがたい限も従事者の立場からもっと大阪の福祉を盛り上げるためにも、支援、また諸先輩方からの応援あつてこそ、と改めて感じてお



従事者部会長
ワークショップかりん
二上 英樹



発行所
〒542-0065
大阪市中央区中寺1-1-54
大阪社会福祉指導センター内
大阪府社会福祉協議会
従事者部会
発行人 二上 英樹

平成26年12月9日、ホテルアウイナ大阪にて、民間社会福祉事業従事者共済会との共催事業が開催され、148名が参加しました。

今回は、タレント・工業デザイナーの稲川淳二氏を講師にお招きし「冬の会談〜世にも不思議な福祉の世界〜」というテーマでご講演いただきました。

稲川氏の次男は先天性の障がいがあり、享年26歳で亡くなりました。長男を授かり、仕事も順調であった稲川氏は「子ども一人でもこんなに幸せ、もう一人いたらもっと幸せだろうな」と思い、念願の二人目も授かりました。

ところが産まれて来た次男には先天性の障がいがあり、医師から「このままでは死ぬ、手術をしても普通の生活は送れない」と告げられました。小さな身体で手術を受けた次男を前に、次男の将来や自分・家族のことを考えると不安でたまらなくなり、一瞬自分の手で次男を殺めることまで考えたそうです。しかし、懸命に呼吸をさせている姿を見て、それをするとはしなかった、出来なかつたということでした。子どもが障がいを持って産まれてきた場合、親は自分を責めます。また、場合によっては、親を恨んだり、自分自身を責めたりもするでしょう。多岐に渡

～世にも不思議な福祉の世

「障がい者の親として生きる」



稲川 淳二氏 講演会

(三徳寮 K. I.)

冬の会談〜世にも不思議な福祉の世界〜 (民間共済会との共催事業)

り活動されている稲川氏も私たちと変わらぬ「親」であることに親近感を覚えたと共に、稲川氏の経験されたことが少しは分かり、私にとって、今回の話は涙無くしては聞けぬ内容でした。

日頃、私たちは様々な事情を抱えた利用者の方々の支援を行っています。自身にその方と同じような経験があれば、相手の気持ちを理解することは出来ると思いますが、自分が経験したことがない出来事に関しては、想像の範囲で相手の気持ちを察するしかありません。今回の様に、他者の様々な体験を聞くことは想像の部分を広げることが出来る、良い機会だと感じています。今後もこのような講義を企画していただき、仕事のため・自分自身のために活かしたいと思いました。

常任委員名簿

(平成27年6月現在)

役職	施設種別	施設名	氏名
部会長	セルフ	ワークショップかりん	二上 英樹
副部会長	保育	みどり幼稚園	橋田 浩史
	児童	南河学園	横山 泰直
	老人	とりかい白鷺園	井上 卓司
	成人	三徳寮	大嶋 茂子
常任委員	児童	高津学園	松本 幹生
		博愛社	村上 文啓
		聖ヨハネ学園	平井 克典
		花園精舎	國井 裕
		子供の家	西井 陽彦
		東光学園	友井 秀一
		三ヶ山学園	古木 由美
		信太学園	野原 茂幸
		奈佐原寮	足立 英之
		若江学院	土本 貴之
		みなと寮	宮武 信行
		フローラ	新名 秀典
セルブ	セルブ	ポンチセびりか	寺本 未来
		交野自立センター	日野 信行
		聖ヶ丘保育園こども未来学舎	川畑 弘二
		たんぼば中冬学園	三角 寛子
保育	保育	あすなろ保育園	大西 正剛
		寺内さくらこども園	富田 祐介
		三宝こども園	山組 聖
		あい桂こども園	古賀 壽
		中新開さつきこども園	大東 主範
		清和保育園	山上 裕子
		ひかり保育園	住吉 玲子
		八尾母子ホーム	林 真也
母子	母子	四天王寺悲田院養護老人ホーム	上田 真也
老人	老人		

(順不同・敬称略)

従事者部会とは “大阪府社会福祉施設 全従事者の会”

(会員施設は平成27年4月1日現在)

- ◎保育部会 644施設
民間保育園、認定こども園を対象とした組織。
- ◎老人施設部会 453施設
特養、養護、軽費、ケアハウスなどを対象とした組織。
- ◎成人施設部会 97施設
救護、更生、内部障害者更生、婦人保護、知的・身体障害者更生施設などを対象とした組織。
- ◎児童施設部会 73施設
児童養護施設、乳児院、情緒障害児短期治療施設などを対象とした組織。
- ◎セルフ部会 112施設
授産施設を対象とした組織。
SELFPとは、Sサポート(支援)、Eエンプロイメント(就労)、Lリビング(社会生活)、Pパーティシペイション(社会参加)の略。
- ◎母子施設部会 9施設
母子生活支援施設を対象とした組織。
- ◎医療施設部会 24施設
無料低額診療事業施設を対象とした組織。

～平成27年度 従事者部会 研修会予定(7月1日以降)～

10月

- 第2回集団指導者養成教室 第2日程※消防救命講習(10月9日)(会場:大阪市消防学校)
- コミュニケーションスキルアップ泊研修会(会場:大阪市立信太山青少年野外活動センター)

11月

- 第3回集団指導養成教室(会場未定)
- 第2回集団指導者養成教室 第3日程※消防救命講習(11月10日)(会場:大阪市消防学校)
- マナー研修(会場未定)

12月

- 民間共済会との共催事業(会場未定)
- 第2回集団指導者養成教室 第4日程※消防救命講習(12月2日)(会場:大阪市消防学校)

2月

- 従事者部会人権研修会(会場未定)

◆研修会についてのご意見・ご感想などをお寄せください◆

〒542-0065 大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内
大阪府社会福祉協議会 施設福祉部 従事者部会事務局(担当:三見・長三)
TEL:06-6762-9001 / FAX:06-6768-2426

清和保育園 山上 裕子
今年度から従事者部会に参加させていただきます。大学は法学部出身で、福祉のことを学ぶ機会は余りありませんでしたが、ボランティア活動をしていたことから「人の役に立つことをしたい」という思いがあり、今の施設で働いています。



清和保育園 山上 裕子

ポチセビりか 寺本 未来
今年度から従事者部会に参加させていただきます。大学は法学部出身で、福祉のことを学ぶ機会は余りありませんでしたが、ボランティア活動をしていたことから「人の役に立つことをしたい」という思いがあり、今の施設で働いています。



ポチセビりか 寺本 未来

新 常任委員 紹介

ひかり保育園 住吉 玲子
公立園から民間園になり11年目を迎えました。自然にも恵まれ、あちこちの公園などに出掛け、自然に触れながら足腰も鍛えられています。「人にやさしい保育」を合言葉に職員集団も、保護者や子どもたちに接しています。



ひかり保育園 住吉 玲子

中新開さつきこども園 大東 主範
も園は本年度よりさつきこども園(旧・弥刀さつき保育園)とともに幼保連携型認定こども園へと移行いたしました。丈夫な身体のことにも育てるをモットーに全職員で教育、保育に取り組めます。



中新開さつきこども園 大東 主範

若江学院 土本 貴之
東大阪にある定員50名の児童養護施設で児童指導員をしております。地域に根差した施設をモットーに子ども達が安心・安全な日常生活を送れるよう支援しています。先輩の先生方に色々と教わりながら精一杯務めさせていただきます。宜しくお願い致します。



若江学院 土本 貴之

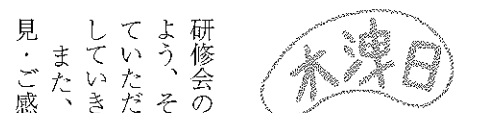
救護施設フロア 北上 貴彦さん
救護施設フロアは東大阪市にある救護施設です。救護施設とは身体上又は精神上著しい障害があるために日常生活を営むことが困難な要保護者を入所させて、生活扶助を行うことを目的とする施設です。



フロア

職場奮闘記

その中で私は自立度の高い利用者が多くいらっしゃるグループに所属しております。このグループでは地域に移行する事を目標に掲げ、利用者の方々が日々訓練に取り組みながら生活しています。その中で私は今月施設を退所予定の方の支援を担当させていただきました。地域生活に向けて一緒に物を探したり、必要な物品を購入したりしています。入所当初は、大変大人しい方でお部屋にこもって一日の大半を過ごしておられました。この方に対する支援は、一人一人が地域に移行できるよう支援に取り組むことが大切だと感じました。チームでアプローチを行い、



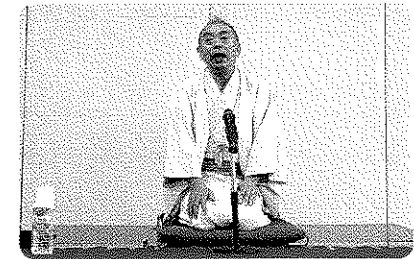
これまで白黒印刷をしていた「かがり火」ですが、新しい試みとして、今年度よりカラー印刷をすることにしました。写真も入れながら、研修会の様子が皆様により伝わるよう、そしてより一層身近に感じてもらいたい「かがり火」を目指していきたいと思っています。また、研修会についてのご意見・ご感想の受付も開始いたします。



「かがり火」キャラクター「照子ちゃん」

集団指導者養成教室

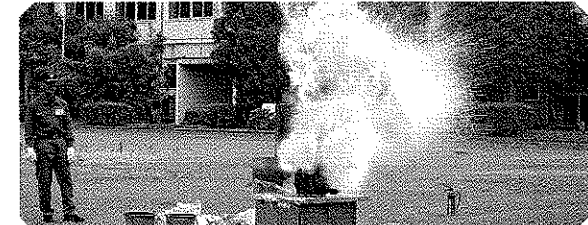
集団指導者養成教室は、介護・障がい・児童など、さまざまな分野の施設職員がともに研修に参加し、レクリエーション指導、消防・救命研修、社会教養研修など多彩な研修を通じて施設従事者の資質向上を図るという研修会です。



笑いでストレスを発散

自身の中のストレスと向き合い、比重などを点検しながら、心と体の両方をメンテナンスすることで、自分の健康を保つというのを、この研修で学びました。(東光学園T.H)

第1回集団指導者養成教室
平成26年6月28日、大江ビルにて第1回集団指導者養成教室が開催されました。講師には、落語家の林家うん平氏をお迎えし、53名が参加しました。
「聞いて長生き笑って健康！健康人生パンザイ！」という講演のタイトル通り、林家うん平さんの落語家独特の間と語りで、笑いストレスの関係について、時にはマジックパルーンで動物たちを多数紹介してくださるなど、終始とても充実した内容で楽しく聴かせていただきました。
中でも「あなたの心はどこにありますか？」と問われた場面では、正直私はドキッとしていました。私の心は分かりますが、どこにあるのか。又、ストレスというものはどういふのですか？との問いにも、私自身にどのようなストレスがあるのか。普段は意識せずに気付かないで過ごしているストレスが多いことも知りました。ストレス発散には、美味しい物を食べたり、映画を観たり、友人と話したり、買い物をしたりなど、方法や手段は人それぞれ違いますが、常日頃より自分自身の心の中のストレスと向き合い、比重などを点検しながら、心と体の両方をメンテナンスすることで、自分の健康を保つというのを、この研修で学びました。(東光学園T.H)



引火した天ぷら油に水をかけると・・・



消火器訓練の様子

第2回集団指導者養成教室「消防訓練・普通救命講習」
平成26年6月26日、10月17日、11月11日、12月3日の計4回にわたり、第2回集団指導者養成教室が開催されました。毎年応募が殺到する大阪市消防学校での消防訓練・普通救命講習ですが、今年度は計226名が参加しました。
消防訓練では消火器・屋内消火栓を使つての訓練、室内での煙発生実験、暗での移動体験を行いました。普通救命講習ではAEDを含む心肺蘇生法などを学習しました。
いざという時に冷静に対応するには、日々の訓練の積み重ねが大切だと感じました。今回の講習で学んだことは、施設の職員間で共有できるように努めたいです。



アジアの貧困について語る池間氏

第3回集団指導者養成教室
平成26年11月20日、第3回集団指導者養成教室が開催され、50名がホテルアウイナ大阪に集まりました。講師には、日本アジアネットワーク代表・NPO法人アジアチャイルドサポート代表理事の池間哲郎氏をお迎えし「あなたの夢は何ですか？・懸命に生きる子どもたちから学ぶ」というテーマで講演いただきました。
今回、アジア諸国の現状をスライドを見ながら話していただき、今までの日常を振り返ることができました。
アジア諸国には、貧しい国がたくさんあり、水を飲むこと・教育を受けること・特に心配することなく大人になれること・私たちが当たり前だと思っていることが、当たり前ではないということと学びました。
スライドに映っている人たちは、貧しい暮らしの中でも一生懸命生きようとしていたり、親を尊敬したり、夢をもつ心はとても豊かで、いきいきとした目が印象的でした。
特に、「感謝とは生きる力」「やってみたら当たり前と思っていると、幸せを感じる心の力が薄っぺらくなる」という言葉に感銘を受けました。私の日常の中には「感謝」することがたくさんあることに気付かされました。
保育士という夢を叶え元気に働くことができるのも、両親を含め、たくさんの方たちのおかげです。資源だけが豊かなのではなく、心も豊かな日本人として誇りをもって生きていきたいです。(うちこし保育園K.H)

新規事業

笑顔と笑声で、互いに気持ち良い職場づくり (マナー研修)



グループディスカッションの様子



携帯電話を使ったベアワーク



島津氏によるマナー研修

平成26年5月27日(火)・11月7日(金)の2日にわたり「笑顔と笑声で、互いに気持ち良い職場づくり」を大阪民間社会福祉事業従事者共済会との共催で開催。講師には、フリーアナウンサー・Brush Up トレーナーの島津ゆう子氏をお迎えし、会場となった大阪社会福祉指導センターには、それぞれ47名・42名の施設職員が集まりました。

今回はマナーの基本、接客と接遇について学びました。グループディスカッションでは、やりがいや、働く価値の相違について他業種の方と意見交換を行い、業種は違っても、同じような悩みを抱えていることがわかりました。

研修に参加して、職場の環境を変えていくためには、まずは自分から変わる必要があることを実感しました。

研修後より、笑顔で自分から挨拶することを実践しています。

(とりかい白鷺園 Y.F)

コミュニケーションスキルアップ研修

平成26年10月21日(火) 22日(水)、大阪市立信太山青少年野外活動センターにて、コミュニケーションスキルアップ一泊研修が開催され、施設職員30名が参加しました。

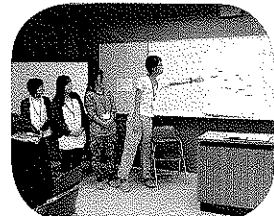
今回の研修は私にとって、他施設の方と合同で学び交流する事が初めてだった為、とても貴重な二日間になりました。他已紹介や様々な簡単なゲームだけで、初対面同士がうちとけていく様子に自分でも驚きました。グループワークにおいて、自由な(活発な)意見を出せる環境を作るには、その準備段階としてこのような



2日間お疲れ様でした



美味しいカレーが出来ました！ グループディスカッション発表の様子



リーダー養成研修

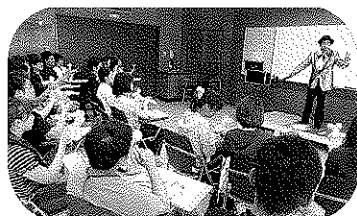
平成26年6月13日(金) 14日(土)、大阪市立信太山青少年野外活動センターにてリーダー養成研修が開催され、35名が参加しました。

大道芸やキャンプファイヤーなどを学ぶという事で、保育士として子どもたちと共に楽しめる遊びをたくさん学ぼうという気持ちで参加させていただきました。

ゲームの仕方だけではなく、子どもたちを引き付ける導入の仕方や声掛けの工夫、音楽の使い方なども教えていただきました。大変勉強になりました。また大道芸では前に出て近くでプロの方のマジックのお手伝いをさせてもらうという貴重な経験をさせていただきました。夜が更けてからのキャンプファイヤーも子どもたちが楽しめる歌やゲームをたくさん



2日間の研修を終えて



Mr.オクチ氏によるバルーン指導



ゲーム指導の実際

さん教えていただき、私自身とても楽しかったです。二日目のグループディスカッションの講義では「チームワーク」という題で即興劇を作りました。どのような劇にするかテーマから考え、意見を出し合いながら劇を作ったことで完成したときはとても達成感があり、協力することの大切さを改めて感じる事が出来ました。

交流会の時間もいろいろな職種の方とお話しさせていただき情報交換ができました。このような機会がめったにないので参加できてよかったです。

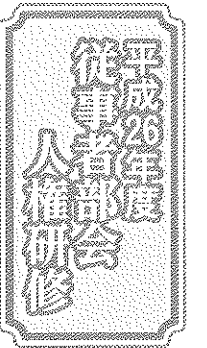
今回リーダー養成研修に参加させていただき学んだことを今後保育士としてスキルアップする為に実践していきたいと思っています。ありがとうございます。(八田壮二 とも園 G.R)

アイスブレイクが有効であると身を持って学びました。職場でもそれは同様であったり、普段の何気ない会話ややりとりがとっても、よりよい報・連・相が成り立っているのだらうと考えます。

2日目のプログラム「即興劇作り」では、みな初対面だったチームがまとまって一つの劇を完成させることができました。一つの自信に繋がりました。

今後、この研修で得たコミュニケーションにおける「積極性」を職場でも活かしていきます。

(生駒学園 I.N)



金 聖雄監督 講演会

平成27年3月5日、従事者部会人権研修を大阪府社会福祉施設人権活動推進協議会との共催で行い、会場となった大阪社会福祉指導センターには11名の参加者が集まりました。

「ずすまで」の上映があり、小学生の頃、道徳の授業で狭山差別の事を学んできた私は、警察のつちあげで無実の罪に苦しんでいるという事実に幼いながらも矛盾を感じ、授業を受けていたことを思い出しました。事件当時から四十一年以上過ぎた今もなお、事件の無実が証明されず、裁判が続いているという事を知り驚き、無関心になっていた事を申し訳なく思いました。

石川夫妻の言葉でそう自分に問いかけることもできました。私の仕事は、様々な理由で心のケアが必要な方々の相談業務です。相談を受ける中で、「幸せ」を伝える事は容易ではありません。しかし、どんな状態の中にも必ず、幸せがあるということ、たくさんの支援があり、自分で切り開くことができるという事を私自身も強く信じ、利用者に伝えていきたいと思っています。

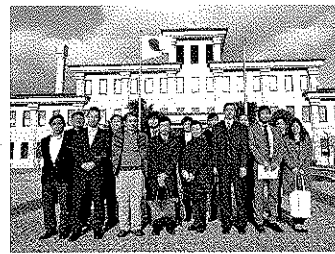
(八尾母子ホームK.S.)

従事者部会 常任委員宿泊研修会

平成26年度常任委員宿泊研修会として、平成27年1月28日から29日の二泊研修会を実施しました。兵庫県にある神戸刑務所と播磨社会復帰促進センターへ施設見学に行きました。さまざまな福祉施設から20名の常任委員が参加しました。

福祉現場で働いている中で、関係性のある刑務所ですが、実際に施設内を見学する事は初めてで、参加職員は貴重な経験となりました。

一日目は神戸刑務所に行きました。男性受刑者を収容しており、執行刑期が10年未満で犯罪傾向が進んだ方や外国人の方、無期刑および執行刑期10年以上の犯罪傾向が進んだ方が収容されていました。明治時代からの歴史があり、全国の中でも、収容人数が大規模の施設でした。収容者の平均年齢が48歳と年々上がってきており高齢化が進んでいることを知り、高齢化の社会問題は刑務所でも起きていることが印象的でした。



神戸刑務所前にて

二日目は、加古川市にある播磨社会復帰促進センターを見学しました。犯罪傾向が進んでいない26歳以上の男性で、執行刑期が8年未満であること、刑務所での収容が初めての方が対象でした。特徴としてPFI方式を採用しており、官民協働で業務の効率化と資格的向上を目指している、国の職員と民間委託された職員が受刑者の支援を行っていました。刑務所が社会への広報活動を積極的に取り組むことにより透明性を確保していました。また、民間職員は、地域雇用の機会になり地域貢献にも実績をつんでいることや、受刑者の社会復帰支援の充実につなげていることに驚きました。

(信太学園N.S.)

ソフトボール大会



ナイスバッティング!



チーム一丸となって頑張りました

平成27年5月20日・21日「第47回施設職員ソフトボール大会」が快晴の中舞洲スポーツアイランド運動広場で開催され2日間、計45チームの参加がありました。従事者部会としてソフトボール大会の参加も恒例のイベントとなりました。施設種別を超えたメンバーの集まりで、日頃の運動不足、年齢も若いとは言えないにも拘らず例年通りの練習一切なしのおっつけ本番。しかし試合が始まると、野球好きの従事者部会メンバーだけに、走・攻・守のすべてにハッスルプレーの続出で、全員大活躍でした。体を張りボールを死守し青タンが出来た強者もいましたが、強豪揃いのブロックであった為1勝1敗と健闘したものの決勝リーグ進出とはなりません。さすがに試合後は疲れが出ていましたが、汗を流し、大きなケガもなく楽しくプレーすることのできるフレッシュな出来た一日となりました。ご参加下さった皆様、本当にお疲れ様でした。

(みどり幼児園K.K.)

野球大会



次回こそは一勝を・・・!

平成26年9月17日18日の2日間舞洲スポーツアイランド運動広場で「第36回施設職員軟式野球大会」を開催され、17日は8チーム、18日は17チーム計25チームの参加がありました。従事者部会チームは17日にエントリース、戦わずしてベスト8入りは確定となりました。攻守にわたり全員大活躍でしたが、健闘むなしく予選リーグで姿を消すこととなりました。ソフトボールと違い塁間が広く、走塁に準備に中年軍団にはかなりきついものでした。試合後、2戦2敗という成績に、体の衰えより負けず嫌いの性格が勝っている従事者メンバーだけに来年は、絶対1勝はするぞと、もうすでに次年を見添えていました練習の予定はございません。ご参加下さった皆様、本当にお疲れ様でした。

(みどり幼児園K.K.)